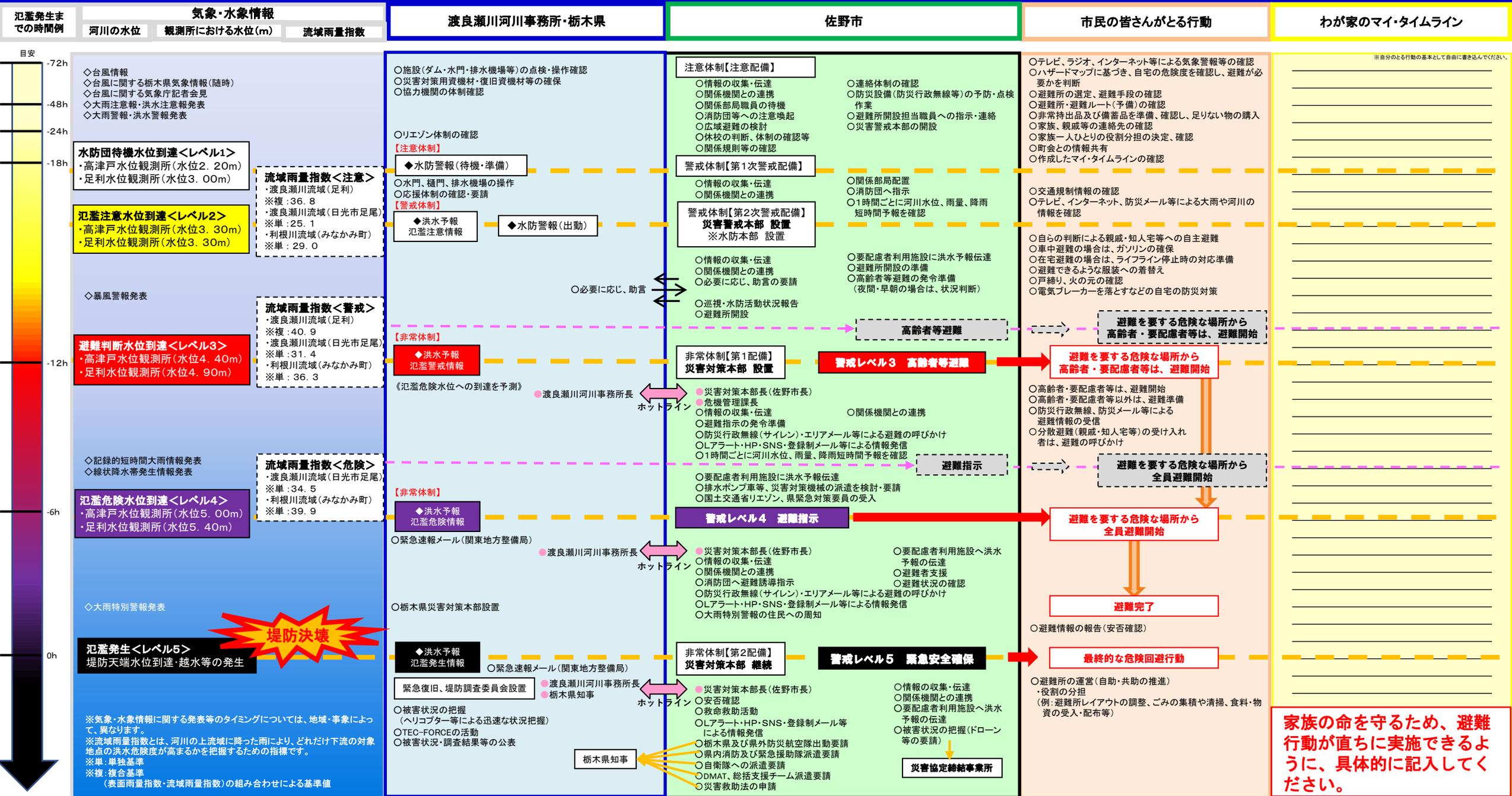


佐野市洪水タイムライン
(対象河川) 渡良瀬川



氾濫発生までの時間例

気象・水象情報

河川の水位 観測所における水位(m) 流域雨量指数

渡良瀬川河川事務所・栃木県

佐野市

市民の皆さんがとる行動

わが家のマイ・タイムライン



- ◇台風情報
- ◇台風に関する栃木県気象情報(随時)
- ◇台風に関する気象庁記者会見
- ◇大雨注意報・洪水注意報発表
- ◇大雨警報・洪水警報発表

水防団待機水位到達<レベル1>

- ・高津戸水位観測所(水位2.20m)
- ・足利水位観測所(水位3.00m)

流域雨量指数<注意>

- ・渡良瀬川流域(足利) ※複:36.8
- ・渡良瀬川流域(日光市足尾) ※単:25.1
- ・利根川流域(みなかみ町) ※単:29.0

氾濫注意水位到達<レベル2>

- ・高津戸水位観測所(水位3.30m)
- ・足利水位観測所(水位3.30m)

流域雨量指数<警戒>

- ・渡良瀬川流域(足利) ※複:40.9
- ・渡良瀬川流域(日光市足尾) ※単:31.4
- ・利根川流域(みなかみ町) ※単:36.3

避難判断水位到達<レベル3>

- ・高津戸水位観測所(水位4.40m)
- ・足利水位観測所(水位4.90m)

流域雨量指数<危険>

- ・渡良瀬川流域(日光市足尾) ※単:34.5
- ・利根川流域(みなかみ町) ※単:39.9

氾濫危険水位到達<レベル4>

- ・高津戸水位観測所(水位5.00m)
- ・足利水位観測所(水位5.40m)

堤防決壊

氾濫発生<レベル5>
堤防天端水位到達・越水等の発生

※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

※流域雨量指数とは、河川の上流域に降った雨により、どれだけ下流の対象地点の洪水危険度が高まるかを把握するための指標です。

※単:単独基準

※複:複合基準
(表面雨量指数・流域雨量指数)の組み合わせによる基準値

- 施設(ダム・水門・排水機場等)の点検・操作確認
- 災害対策用資機材・復旧資機材等の確保
- 協力機関の体制確認

○リエゾン体制の確認

◆水防警報(待機・準備)

- 水門、樋門、排水機場の操作
- 応援体制の確認・要請

◆洪水予報
氾濫注意情報

◆水防警報(出動)

◆洪水予報
氾濫警戒情報

◆洪水予報
氾濫危険情報

◆洪水予報
氾濫発生情報

- 緊急速報メール(関東地方整備局)
- 被害状況の把握(ヘリコプター等による迅速な状況把握)
- TEC-FORCEの活動
- 被害状況・調査結果等の公表

- 注意体制【注意配備】
- 情報の収集・伝達
- 関係機関との連携
- 関係部局職員の待機
- 消防団等への注意喚起
- 広域避難の検討
- 休校の判断、体制の確認等
- 関係規則等の確認

警戒体制【第1次警戒配備】

- 情報の収集・伝達
- 関係機関との連携

警戒体制【第2次警戒配備】
災害警戒本部 設置
※水防本部 設置

- 情報の収集・伝達
- 関係機関との連携
- 必要に応じ、助言の要請
- 必要に応じ、助言
- 監視・水防活動状況報告
- 避難所開設

非常体制【第1配備】
災害対策本部 設置

- 災害対策本部長(佐野市長)
- 危機管理課長
- 情報の収集・伝達
- 避難指示の発令準備
- 防災行政無線(サイレン)・エリアメール等による避難の呼びかけ
- Lアラート・HP・SNS・登録制メール等による情報発信
- 1時間ごとに河川水位、雨量、降雨短時間予報を確認
- 関係機関との連携

警戒レベル4 避難指示

- 要配慮者利用施設に洪水予報伝達
- 排水ポンプ車等、災害対策機械の派遣を検討・要請
- 国土交通省リエゾン、県緊急対策要員の受入

非常体制【第2配備】
災害対策本部 継続

- 災害対策本部長(佐野市長)
- 安否確認
- 救命救助活動
- Lアラート・HP・SNS・登録制メール等による情報発信
- 栃木県及び県外防災航空隊出動要請
- 県内消防及び緊急援助隊派遣要請
- 自衛隊への派遣要請
- DMAT、総括支援チーム派遣要請
- 災害救助法の申請

- 連絡体制の確認
- 防災設備(防災行政無線等)の予防・点検作業
- 避難所開設担当職員への指示・連絡
- 災害警戒本部の開設

- 関係部局配置
- 消防団へ指示
- 1時間ごとに河川水位、雨量、降雨短時間予報を確認

- 要配慮者利用施設に洪水予報伝達
- 避難所開設の準備
- 高齢者等避難の発令準備(夜間・早朝の場合は、状況判断)

警戒レベル3 高齢者等避難

避難指示

警戒レベル4 避難指示

- 要配慮者利用施設へ洪水予報の伝達
- 避難者支援
- 避難状況の確認

避難完了

警戒レベル5 緊急安全確保

- 情報の収集・伝達
- 関係機関との連携
- 要配慮者利用施設へ洪水予報の伝達
- 被害状況の把握(ドローン等の要請)

災害協定締結事業所

※自分のとる行動の基本として自由に書き込んでください。

家族の命を守るため、避難行動が直ちに実施できるように、具体的に記入してください。